

平成 15 年度

美幌町次世代育成支援対策地域行動計画

平成 16 年 3 月

美 幌 町

I 次世代育成支援行動計画の策定にあたって

1. 次世代育成支援行動計画策定の趣旨

全国的に少子化が進行してきているおり、大きな社会問題として様々な取り組みがおこなわれてきましたが、依然その進行は止まっておりません。このまま少子化が進行してしまえば高齢化の助長や将来的な人口の減少が引き起こされ、多くの社会的問題に影響していくことが懸念されています。少子化の原因としては、晩婚化・未婚化の進行、仕事と子育ての両立に対する負担感や様々な要因が考えられております。

急速な少子化が進行しているという現状を踏まえ、少子化の流れを緩和し、少しでも子どもを産み育てやすい環境を整えていくために、平成 15 年 7 月に「次世代育成支援対策推進法」が制定され、地方公共団体及び企業が集中的・計画的な取り組みを促進していくこととなりました。

従来の取り組みに加え、さらに実効性のある対策・取り組みを行っていくために、行政、地域、企業などがそれぞれの役割を担いながら、子育てが楽しいまちづくりを進めていきます。

2. 次世代育成支援行動計画の性格・位置づけ

国がつくる「行動計画策定指針」に即した「行動計画」の策定が、都道府県及び市町村、事業主（従業員数 301 人以上は義務、300 人以下は努力義務）に義務づけられました。

今までのエンゼルプランからさらに一歩踏み込んで、具体的な保育サービスの充実や地域住民や地域における子育てに対する取り組みなどについて、ニーズ調査を行いながら町民を中心とする行動計画策定委員会において幅広い視点で考え、美幌町が今後進めていく子育て支援施策の方向性や目標を総合的に定めたものです。

3. 次世代育成支援行動計画の期間

次世代育成支援行動計画は、5 年を 1 期とするものとされているため、平成 16 年度までに平成 17 年度から平成 21 年度までの前期計画の策定を行い、5 年経過後の平成 21 年度までに前期計画に必要な見直しを行った上で平成 22 年度から平成 26 年度までの後期計画の策定を行います。

美幌町においては、子育て支援への取り組みを少しでも早く展開するため、前期計画を 1 年早めて、平成 16 年度を初年度とする 6 年間の計画を策定しました。

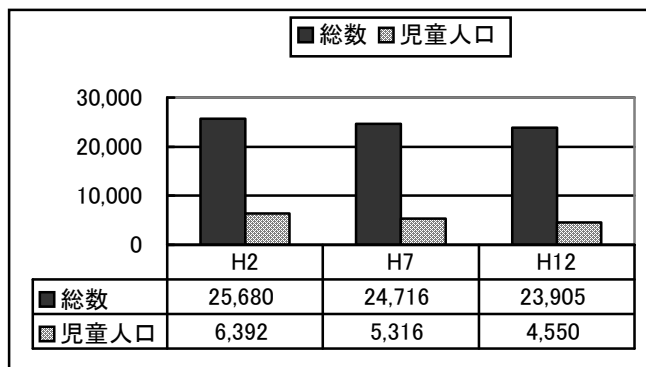
平成 16 年 度	平成 17 年 度	平成 18 年 度	平成 19 年 度	平成 20 年 度	平成 21 年 度	平成 22 年 度	平成 23 年 度	平成 24 年 度	平成 25 年 度	平成 26 年 度	平成 27 年 度
前期計画											
					見直し 期間	後期計画					

Ⅱ 現状の分析

1. 少子化の動向

1-1. 人口の推移

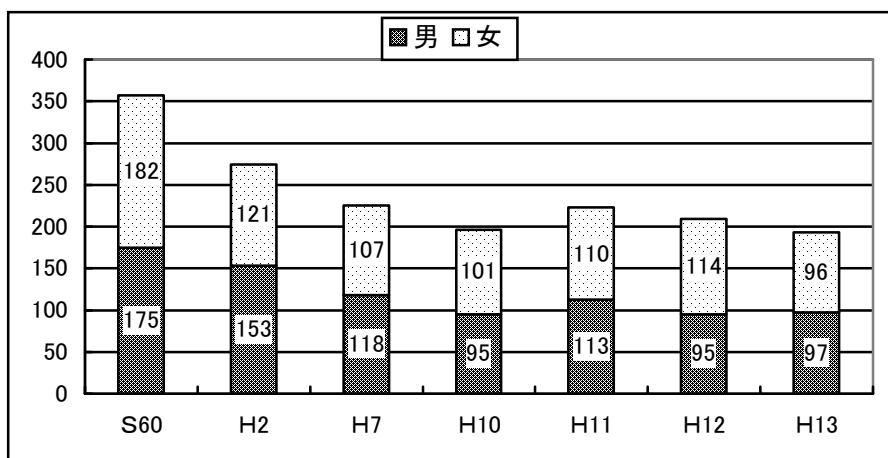
美幌町の人口は減少傾向を続けており、児童人口（0歳～17歳の人口）も減少傾向にあります。平成2年から平成12年までの人口減少率は、全体で約90%ですが、児童人口の減少率は約70%という結果となり、少子化の進行化が顕著に読みとることができます。



（資料：国勢調査）

1-2. 美幌町出生数の推移

出生数についても昭和60年から減少が続き、平成10年からは年間200人前後で推移しています。



（資料：平成14年度美幌町保健活動計画）

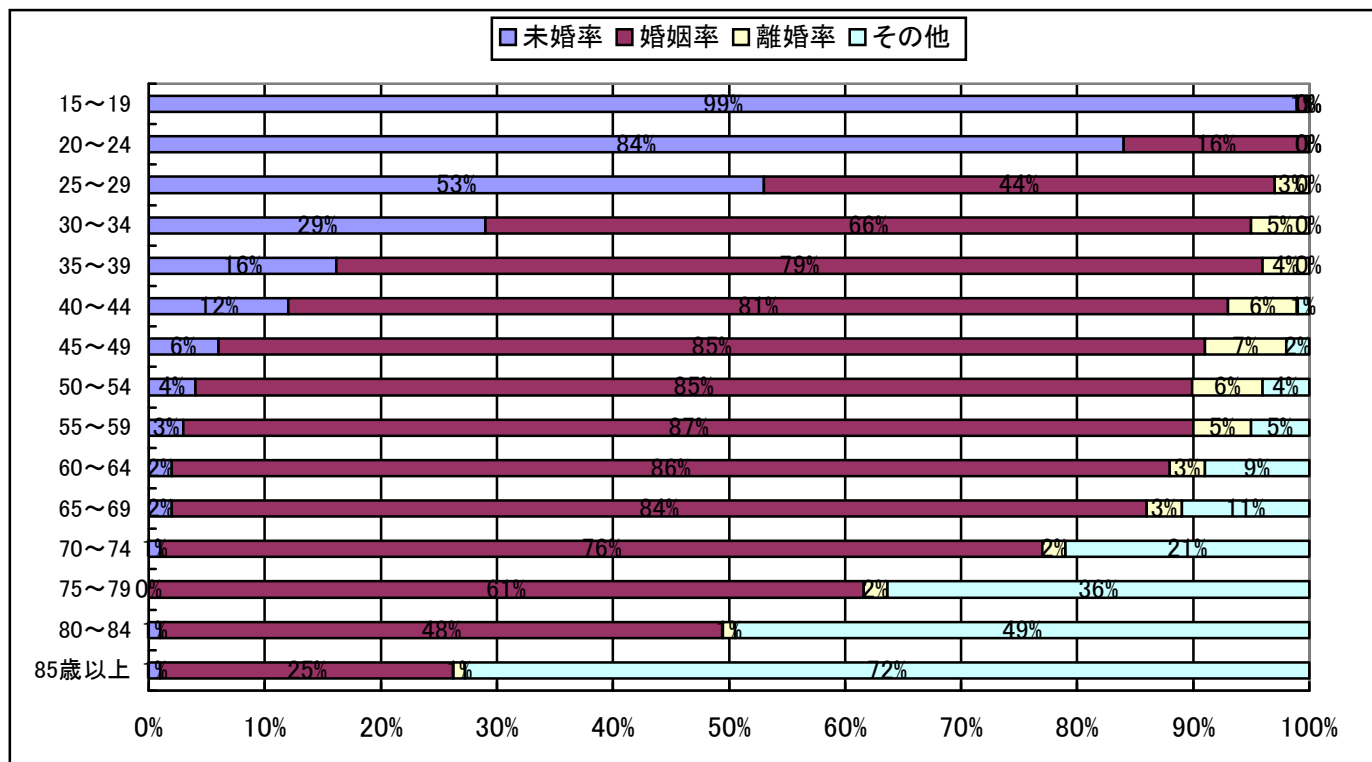
1-3. 美幌町合計特殊出生率

一般に少子化問題との関係でこの数値が使われる、1人の女性が再生産年齢（15歳～49歳）を経過する間に産むと考えられる子どもの数を表す合計特殊出生率も減少傾向にあります。全国・全道の値と比較すると高い水準で推移していますが、人口を維持するに必要とされる2.08を下回っています。

	美幌町	全道	全国
平成11年	1.65	1.20	1.34
平成12年	1.54	1.20	1.34
平成13年	1.44	1.21	1.32

（資料：平成14年度美幌町保健活動計画）

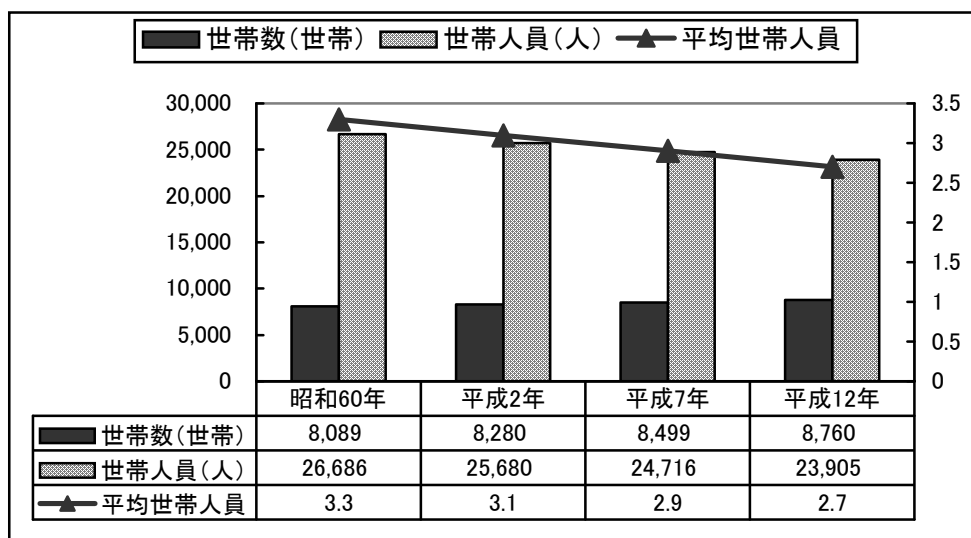
1-4.婚姻の状況（平成12年10月1日現在）



（資料：平成14年美幌町統計書）

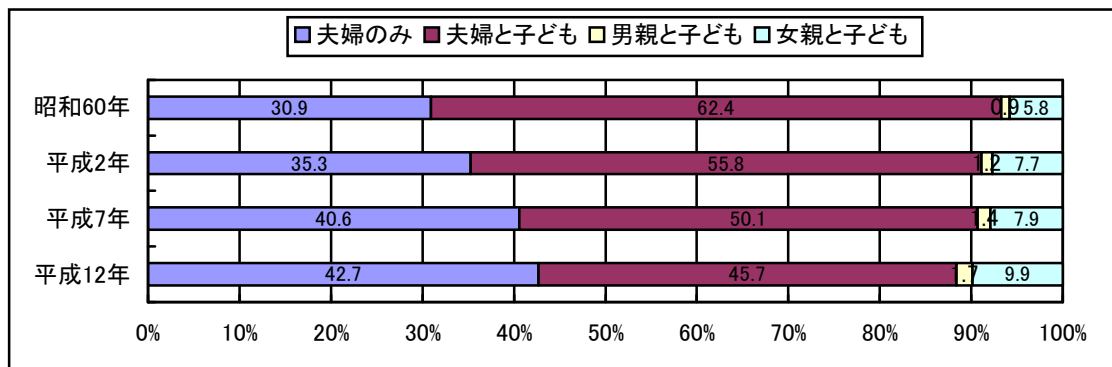
2. 家族や地域の状況

2-1.世帯数



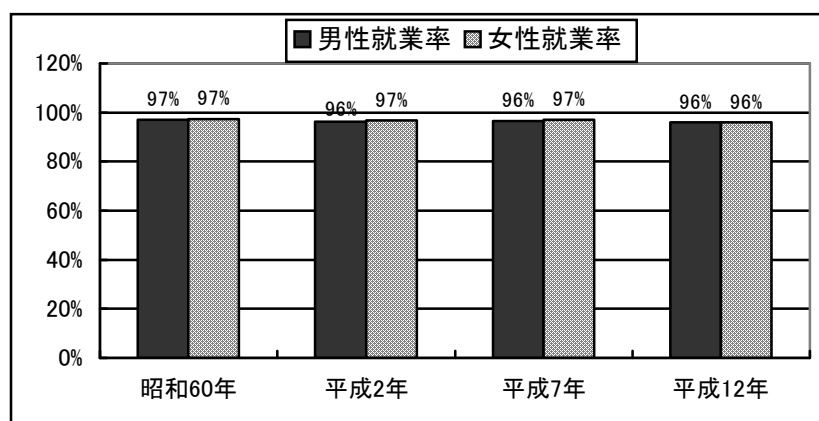
（資料：平成14年美幌町統計書）

2-2. 核家族の構成割合



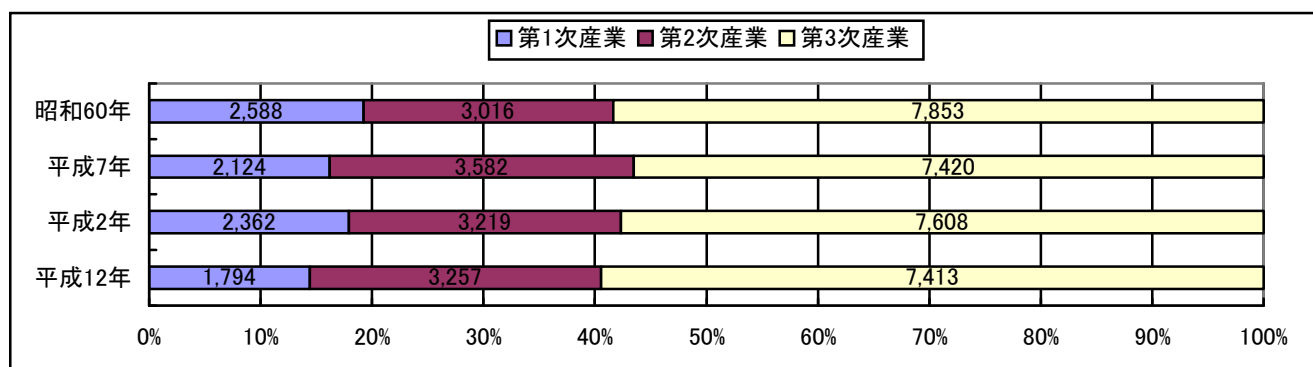
(資料：平成 14 年美幌町統計書)

2-3. 男女別就業率



(資料：平成 14 年美幌町統計書)

2-4. 産業別就業者数



(資料：平成 14 年美幌町統計書)

3.子どもの児童虐待・各種相談状況

美幌町内における児童虐待・各種相談件数は以下のとおりですが、年々相談件数が増加傾向にあり、早期発見、早期解決を目的として「児童虐待対応ケースワークチーム」を設置し、児童虐待を起させない地域づくりに取り組んできていますが、さらに町内の関係機関や団体が有機的に連携し児童虐待の発生防止、早期対応、保護、支援等が機能するよう進めていきます。

3-1.児童虐待内容別相談件数

	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	計
身体的虐待		5	1		1	1	8
ネグレクト					4	1	5
性的虐待					1		1
心理的虐待							0
計	0	5	1	0	6	2	14

(北見児童相談所業務概要)

3-2.児童相談所各種相談受理件数

	養護相談	保健相談	心身障害相談							非行相談			育成相談					その他相談	合計
			肢体不自由	視聴覚障害	言語発達障害	重症心身障害	知的障害	自閉症	小計	ぐ犯行為等	触法行為等	小計	性格行動	不登校	適性	しつけ	小計		
13年度	13	-	4	-	8	14	25	2	53	1	3	4	3	1	2	13	19	0	89
14年度	4	-	5	1	28	25	28	-	87	-	-	-	1	-	1	4	6	-	97

(北見児童相談所業務概要)

4. 保育サービスなどの実施状況

保育サービス項目	H14	H15	比較
通常保育	12 か所	12 か所	100%
延長保育	0 か所	0 か所	
休日保育	0 か所	0 か所	
一時的保育	2 か所	2 か所	100%
預かり保育	3 か所	3 か所	100%
病後児保育	0 か所	0 か所	
家庭的保育	0 か所	0 か所	
保育サービス第三者評価	0 か所	0 か所	
児童クラブ	0 か所	0 か所	
学童保育	3 か所	3 か所	100%

5. 保育サービスなどの利用状況

保育サービス項目	H14	H15	比較
通常保育			
入所児童数	597 人	609 人	102%
待機児童数	0 人	0 人	
延長保育	人	人	
休日保育	人	人	
一時的保育	2 人	2 人	100%
預かり保育	3 人	3 人	100%
家庭的保育	人	人	
児童クラブ	人	人	
学童保育			
美幌学童保育所	53 人	50 人	94%
東陽学童保育所	39 人	46 人	118%
旭学童保育所	37 人	30 人	81%

6. 母子保健事業の状況

事業名	H13		H14		比較
妊娠届出	初妊婦	108 人	初妊婦	209 人	194%
	経妊婦	92 人	経妊婦	102 人	111%
プレママクラス	初妊婦				
	実数	49 人	実数	52 人	106%
	延べ数	167 人	延べ数	206 人	123%
	経妊婦				
	実数	3 人	実数	3 人	100%
	延べ数	10 人	延べ数	8 人	80%
両親学級	母親参加	38 人	母親参加	37 人	97%
	父親参加	31 人	父親参加	27 人	87%
新生児・乳児訪問	新生児訪問	63 人	新生児訪問	81 人	129%
	乳児期訪問	47 人	乳児期訪問	62 人	132%
	電話確認	68 人	電話確認	76 人	112%
股関節脱臼検査	町実施	193 人	町実施	187 人	97%
	医療機関	12 人	医療機関	5 人	42%
乳児健康診査	4 か月検診				
	対象数	199 人	対象数	209 人	105%
	受診数	186 人	受診数	202 人	109%
	受診率	93.5%	受診率	96.7%	
	7 か月検診				
	対象数	223 人			皆減
	受診数	213 人			
	受診率	95.5%			
			10 か月検診		
			対象数	129 人	皆増
			受診数	123 人	
			受診率	95.3%	
1 歳 6 か月児健康診査	対象数	216 人	対象数	206 人	95%
	受診数	207 人	受診数	197 人	95%
	受診率	95.8%	受診率	95.6%	

3歳児健康診査	対象数	212人	対象数	220人	104%
	受診数	196人	受診数	213人	109%
	受診率	92.5%	受診率	96.8%	
乳児相談	延べ数	311人	延べ数	394人	127%
幼児相談	延べ数	264人	延べ数	232人	88%
フッ素塗布	単独	285人	単独	230人	81%
	1歳6か月健診	167人	1歳6か月健診	139人	83%
	3歳健診	135人	3歳健診	133人	99%
巡回児童相談	実施回数	7回	実施回数	8回	114%
	相談延べ数	33人	相談延べ数	39人	118%
	新規相談児	10人	新規相談児	14人	140%
	学童	2人	学童	2人	100%
母子健康教育	13回	187名	14回	276名	148%

7. 母子栄養改善事業の状況

事業名	H13	H14	比較
母子栄養改善事業 (乳児)	<u>4か月健診栄養指導</u> 指導数 173 件	<u>4か月健診栄養指導</u> 指導数 202 件	117%
	<u>7か月健診栄養指導</u> 指導数 198 件		皆減
		<u>10か月健診栄養指導</u> 指導数 96 件	皆増
	<u>乳児相談指導</u> 指導数 106 件	<u>乳児相談指導</u> 指導数 168 件	158%
	<u>6か月児離乳食電話相談</u> 47 人	<u>6か月児離乳食電話相談</u> 15 人	32%
	<u>その他離乳食の電話相談</u> 6 人	<u>その他離乳食の電話相談</u> 5 人	83%
母子栄養改善事業 (幼児)	<u>1歳6か月健診栄養指導</u> 201 件	<u>1歳6か月健診栄養指導</u> 182 件	91%
	<u>3歳児健診栄養指導</u> 指導数 29 件	<u>3歳児健診栄養指導</u> 指導数 33 件	114%
	<u>幼児相談栄養指導</u> 指導数 49 件	<u>幼児相談栄養指導</u> 指導数 31 件	63%
母子栄養改善事業 (母子健康教育)	<u>フレッシュママセミナー</u> 参加者 29 名	<u>フレッシュママセミナー</u> 参加者 26 名	108%
	<u>親子ですくすく</u> 参加者 14 名	<u>親子ですくすく</u> 参加者 10 名	71%
	<u>大谷幼稚園家庭教育学級</u> 34 人	<u>大谷幼稚園家庭教育学級</u> 27 人	79%
		<u>藤幼稚園家庭教育学級</u> 20 人	皆増
	<u>フコク生命</u> 参加者 16 人		皆減
	<u>美幌幼稚園家庭教育学級</u> 17 人	<u>美幌幼稚園家庭教育学級</u> 8 人	47%
	<u>中学生トレーニング教室</u> 参加者 47 人	<u>中学生トレーニング教室</u> 参加者 45 人	96%
	<u>高校生トレーニング教室</u> 参加者 22 人	<u>高校生トレーニング教室</u> 参加者 24 人	109%

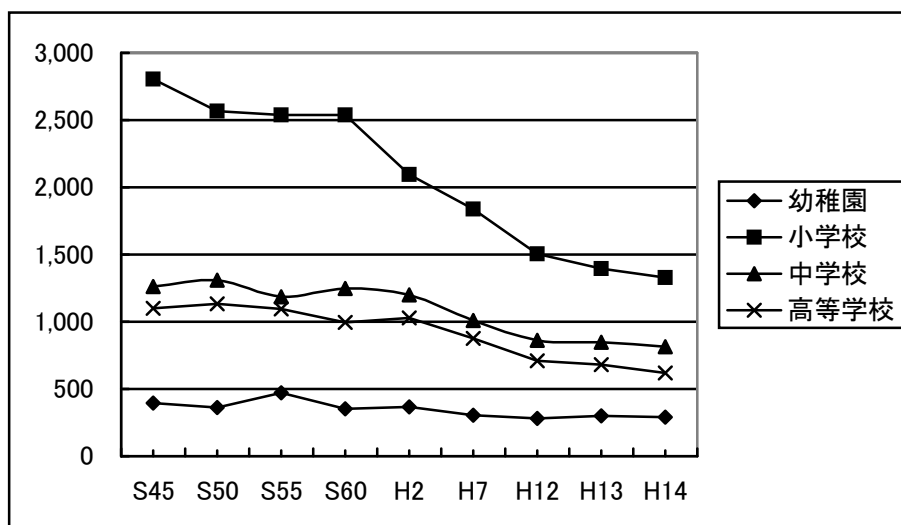
8. 教育施設の現状

教育施設項目	H14	H15	比較
公立幼稚園	1 か所	1 か所	100%
私立幼稚園	2 か所	2 か所	100%
保育所			
公立	9 か所	9 か所	100%
私立	0 か所	0 か所	
公立小学校	5 校	5 校	100%
公立中学校	2 校	2 校	100%

在学者数の推移

幼稚園、小学校、中学校及び高等学校の在学者数の推移は次のとおりです。

小学校の在学者数の減少が目立ちますが、中学校、高等学校の減少は緩やかで、幼稚園はほぼ同水準で推移していると言えます。



(資料：平成 14 年美幌町統計書)

9. 既存関連計画

計画名	第4期美幌町総合計画
計画期間	平成8年度～平成17年度
理念	しあわせで緑豊かな交流都市の想像
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 創意あふれるたくましい産業づくり 2. しあわせと豊かさが実感できる福祉のまちづくり 3. ふれあいとうるおいのある快適なまちづくり 4. 個性を大切にした文化の香り高いまちづくり 5. みんなでつくる魅力あるまちづくり

計画名	美幌町母子保健計画 美幌町母子栄養改善計画
計画期間	平成14年度～平成18年度
理念	すべての子どもが心身ともに健やかに育つ社会の実現
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 町の基本方針「長生きを楽しめるまちづくり」に基づき、健康の基盤づくりともいえる乳幼児期・学童期・思春期のライフステージにおける取り組みについて検討する。 2. あらゆる健康状態の子どもが心身共に健やかに育つ町づくりを目指す。 3. 美幌町の地域実情に応じ、取り組むべき優先課題を中心に策定する。 4. 地域で実践されている母子保健・医療。福祉・社会教育との連携を念頭においた計画とする。 5. 計画期間では平成14年度から平成18年度とする。計画の見直しを年に1度行う。社会情勢の変化など、必要に応じ適宜見直しを行うこととする。